

平成 29 年 度  
事 業 報 告 書

社会福祉法人 秋田市社会福祉協議会



# 平成 29 年度事業報告書

秋田市における地域福祉活動の更なる推進を図るため、「しあわせづくりプラン 2014」（秋田市地域福祉活動計画）に基づき事業展開しました。

地域福祉活動の推進については、見守りネットワーク事業の実態把握を目的に「取り組み状況に関する調査」を実施しました。その調査結果については、地区社協事務担当者研修会で説明し、事業の振り返りや状況把握、課題などについて共通理解を図りました。

昨年 7 月末の大雨災害において、たくさんのボランティアの方々の協力により被災世帯の復旧作業などの支援を行いました。実際の活動から災害時のボランティアセンター運営、被害状況やニーズの把握など、様々な課題が見え、今後の検討すべきことを確認しました。

生活福祉支援については、生活困窮世帯などへの資金貸付や緊急食支援により自立支援を行うとともに、フードバンクへ協力し、更なる生活困窮世帯への支援の充実強化に努めました。

組織運営については、改正された社会福祉法に基づいて適正な法人運営に努めました。

また、社会福祉法人制度改革により社会福祉法人の意識改革と存在意義を高めるため、秋田市内の社会福祉法人の役員・幹部職員を対象とした社会福祉法人制度の研修会を実施しました。この研修会により各社会福祉法人が地域における公益的な取り組みを今後も連携・協力していくきっかけづくりとなりました。

その他、平成 29 年度事業計画に対する取り組みについては、別紙のとおり報告します。

# 1 地域福祉活動推進事業

## (1) ふれあい福祉相談センター推進事業

- ・相談体制 相談員3名(1日2名体制)
- ・開設日数 244日(週5日〔月～金〕、午前9時～午後4時)
- ・相談件数

単位:件

	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康衛生	医療	精神保健	人権法律	財産	事故	児童福祉	教育青少年	心身障がい	母子父子	老人福祉	苦情	人間関係	日常生活	ひきこもり	その他	合計
当年度	30	1	122	33	70	0	5	34	34	314	8	8	4	1	1	110	3	39	4	43	217	3	107	1,191
前年度	24	5	144	20	41	3	7	29	15	343	13	12	3	0	0	67	9	35	10	50	346	0	139	1,315

※下記「無料法律相談」の件数は上記相談件数に含まない。

- ・弁護士によるふれあい無料法律相談 毎月第3月曜日 秋田市老人福祉センター  
(協力:秋田弁護士会)

	件数	相談内訳						合計
		家庭	金銭	不動産	交通事故	相続	その他	
当年度	59件	15件	8件	16件	0件	13件	9件	61件
前年度	62件	16件	14件	11件	0件	16件	10件	67件

※一回に複数の相談が可能のため、件数と相談内訳の合計は異なる。

- ・弁護士によるふれあい無料法律相談の開催予定を広報あきたに掲載し、周知した。

## (2) 見守りネットワーク事業 ※( )内は前年度実績

- ・地域の見守りが必要な世帯に対して、日常的な見守りや定期的な声かけ・訪問活動を行った。

実施地区	38地区 (38)
------	-----------

- ・「見守りネットワーク事業の手引き」を活用し、見守り体制の充実を図った。
- ・各地区の実態把握を目的に「取組み状況に関する調査」を実施した。(38地区)  
・調査期間 平成29年12月13日(水)～平成30年2月9日(金)

## (3) 救急医療情報キット(安心キット)事業

- ・事業の円滑な運営等を図ることを目的として合同推進委員会を開催した。

開催日 平成30年2月6日(火) 秋田市老人福祉センター 出席者16人

案件 安心キット事業の実施状況について  
安心キットの活用状況について  
今後の課題等について意見交換

- ・安心キット未設置者への対策と安心キット設置箇所・方法について検討した。
- ・安心キットの啓発に努めた。
  - ・秋田市社会福祉大会において秋田市消防本部によるデモンストレーション。
  - ・ポスターを作成し医療機関(240か所)に配布。
- ・安心キットの設置世帯数 10,380世帯(平成28年度末)
- ・安心キットの活用件数18件(平成29年1月～12月、秋田市消防本部から情報提供)

(4) 災害時のたすけあいの仕組みづくり

・災害時における地域でのたすけあいの仕組みづくりのために、日ごろの見守り活動や地域サロン事業の推進を図り、また、地域での避難訓練のための災害関連機器を貸出するなど支援に努めた。

(5) 地域元気アップ事業 ※ ( ) 内は前年度実績

・地域の高齢者を対象として「地域元気アップ事業」を実施した地区社協に対して助成金を交付し、介護予防や孤立予防の推進を図った。

(ア) 健康づくり・生きがいくくり支援事業

助成金交付 38 地区 15,797,683 円 (38 地区 15,797,683 円)

・軽スポーツ ・趣味活動 ・健康づくり ・交流事業 ・その他

(イ) 地域サロン事業

助成金交付 37 地区 2,370,000 円 (37 地区 2,370,000 円)

(6) 福祉協力員の設置および活動の推進 ※ ( ) 内は前年度実績

・各地区社協の地域福祉活動に協力する町内会単位の福祉協力員設置の推進を図った。

設置地区数	35 地区	(35)
福祉協力員数	1,179 人	(1,211)

・6 地区社協の福祉協力員等研修会へ参加し、福祉協力員について理解を深めてもらった。

(7) 地域福祉活動合同研修会の開催

開催日 平成 29 年 7 月 7 日 (金)

会場 秋田市文化会館 大ホール

参加者 地区社協関係者、民生委員・児童委員、町内会長、福祉協力員、一般市民等 約 600 人  
(前年度 約 600 人)

内容 講演 「地域で支えること」を考える

講師 八戸学院大学 健康医療学部人間科学科 教授 赤羽 卓朗 氏

事例発表Ⅰ 「桜地区民生委員・児童委員協議会の取り組みについて」

桜地区民生児童委員協議会 会長 佐々木 晋太郎 氏

事例発表Ⅱ 「飯島地区社会福祉協議会の取り組みについて」

飯島地区社会福祉協議会 会長 長谷川 瑞子 氏

(8) 地区社協ブロック研修会への支援

・ブロックごとに地区社協役員および事務局員の研修を行う際に、その開催経費の一部を負担し、地域福祉活動についての情報交換、研修活動を支援した。

(9) 地域支え合い体制づくり支援車両等貸出事業 (秋田市くらしの安心サポート推進事業)

※ ( ) 内は前年度実績

・地域住民やボランティア団体等が主体的に地域支え合い活動に取り組んでいくための体制づくりを支援するために車両や機材を貸出した。

貸出品目	貸出回数	貸出日数
軽トラック	52回 (65)	133日 (141)
送迎車（リフト付き）※買い物支援を含む	85回 (79)	87日 (93)
送迎車（8人乗り）	21回 (20)	26日 (47)
発電機	4回 (6)	18日 (26)
除雪機	0回 (3)	0日 (19)
融雪機器	0回 (0)	0日 (0)
炊き出し機器	0回 (1)	0日 (4)
電子血圧計	38地区社協へ貸出	

・買い物支援事業の実施状況（河辺地区社協・雄和地区社協）

	実施回数	利用者延べ人数	ボランティア延べ人数
河辺地区	24回 (23)	108 (117)	24 (24)
雄和地区	48回 (45)	216 (205)	48 (48)

(10) ふれあいレクリエーション事業 ※（ ）内は前年度実績

・生きがい、介護予防機器貸出

血圧計	0件 (0)	DVDプレイヤー	5件 (7)
万歩計	0件 (0)	ノートパソコン	16件 (27)
握力計	0件 (0)	プロジェクター	46件 (81)
ストップウォッチ	0件 (0)	スクリーン	37件 (63)
体組成計	11件 (0)	暗幕	7件 (8)
バランスボール	0件 (0)	書画カメラ	0件 (0)
塩分検査器	0件 (0)	綿菓子機	53件 (52)
骨伝導電話機	0件 (0)	ポップコーン機	40件 (41)
足指力計測器	0件 (0)	かき氷機	13件 (10)
フロアカーリング	6件 (14)	テント	5件 (3)
スロットボール	13件 (13)	ビンゴ	27件 (21)
スマイルボウリング	6件 (7)	ダーツ	1件 (1)
室内用ペタンク	2件 (3)	車いす(福祉教育用)	20件 (35)
室内ボールゲーム	1件 (0)	高齢者疑似体験セット	25件 (18)
グラウンド・ゴルフ	12件 (12)	視覚障がい者体験グラス	5件 (2)
ターゲット・バードゴルフ	3件 (5)	アイマスク	2件 (5)
輪投げ	40件 (50)	D V D	1件 (0)
カラオケセット	112件 (97)	C D	0件 (0)
ワイヤレスアンプ	45件 (44)	図書	0件 (0)

(11) 子育て支援事業

・子育て支援おもちゃの無料貸出

25団体におもちゃ（33種類）を35回（延べ149日）貸出し支援した。

（前年度 30団体 30種類 59回 延べ202日）

- ・のびのび子育て出前講話

市内子育てサークル団体に対して、子育てに関する内容の講師を派遣し、子育て支援を図った。  
 35 団体 延参加者 親 246 人 子 351 人 協力者 158 人 計 755 人  
 (前年度 30 団体 計 691 人)

- ・子育て支援への助成

地区社協または地区民児協が行う子育て支援事業に対して助成を行った。  
 34 地区 680,000 円 (前年度 34 地区 680,000 円)

(12) 地区社協の活動支援 ※ ( ) 内は前年度実績

- ・「秋田市地区社会福祉協議会連絡会」への活動支援と協力を行った。

- ・地区社会福祉協議会 事務担当者研修会の開催

開催日 平成 30 年 3 月 7 日 (水)  
 会場 秋田市老人福祉センター  
 参加者 36 地区 67 人  
 内容 研修 事業内容および事務手続きについて

- ・地区社協各種研修会への参加と支援

地区社協の要望に応じ、研修会等での講話や事業の説明を行い支援した。

- ・共同募金による地域福祉活動事業への配分

38 地区 配分額 15,229,187 円 (38 地区 配分額 15,826,482 円)

- ・「地区社協の拠点づくり・事務機器整備支援事業」を実施し、8 地区社協へ助成した。

拠点づくり 2 地区 200,000 円、事務機器整備 6 地区 180,000 円  
 (拠点づくり 1 地区 100,000 円、事務機器整備 5 地区 150,000 円)

- ・「地区社会福祉協議会研修支援事業」を実施し、3 地区社協へ助成した。

合同研修会の開催経費 1 地区 20,000 円、バス等の借上げ料 2 地区 40,000 円

- ・横断幕、垂れ幕、ポスター作成の支援

地区社協	25 件	(33)
地区民児協	6 件	(5)
町内会	17 件	(8)
福祉団体・その他	104 件	(99)
計	152 件	(145)

- ・印刷支援

紙を持参することにより印刷費を無償にして、活動を支援した。印刷実績 180,625 枚 (31,462)

(13) 市民児協との連携

- ・秋田市民生児童委員協議会と連携のもと、見守りネットワーク事業を実施し、地域福祉の充実を図った。

- ・平成 29 年 8 月 22 日に市社協・市民児協の正副会長の懇話会を開催し、「大雨災害への対応」について情報交換を行った。

- ・平成 29 年 10 月 3 日～4 日の市民児協役員研修 (新潟県新発田市) に市社協職員が参加した。

- ・平成 29 年 11 月 28 日の市民児協理事会において除雪支援等について説明した。

(14) 法人後見制度の調査研究

- ・法人後見制度についての調査研究を継続した。

## 2 在宅福祉サービス事業

### (1) 福祉機器貸出事業 ※ ( ) 内は前年度実績

・在宅で福祉機器を要する世帯に対して貸出した。

機器名	保有台数	年度末現在 貸出中件数	当年度 貸出件数
車 い す	25	11	98 (101)
介 護 用 ベ ッ ド	18	18	5 (2)
エ ア マ ッ ト	9	7	2 (0)
シャワーチェア	3	1	1 (3)
入 浴 台	2	0	1 (1)
歩 行 器	1	0	1 (0)
浴 槽 手 す り	5	0	0 (0)
移 動 用 バ ー	3	1	0 (0)

・地域センターやコミセン等に車いすを設置し貸出を行った。

貸 出 件 数	153 件 (191)
---------	-------------

・地域センターやコミセン等に設置している貸出用車いすの点検および更新を行った。  
更新 8台 (14)

### (2) 移送車等の貸出事業 ※ ( ) 内は前年度実績

・障がい者の通院、買い物等のため移送が必要な世帯等に対し、移送車を貸出した。

台 数	2台 (2)
登 録 者 数	51人 (46)
利 用 回 数	158回 (183)

(ガソリン代は自己負担)

### (3) ふれあいさん派遣事業 ※ ( ) 内は前年度実績

・急な病気、ケガ等の時に「ふれあいさん」を派遣し、短期間単発の生活支援をすることにより、介護予防や子育て支援につながった。

(ア) 利用状況

実 利 用 者 数	168人 (130)	男 56人 女 112人 (男 38人 女 92人)
延 べ 利 用 回 数	1,128回 (1,010)	月平均 94回
利 用 延 べ 時 間	2,137.0時間 (1,627.0)	月平均 178.1時間
利 用 平 均 年 齢	66.7歳 (69.0)	
稼 働 日 数	294日 (294)	
登 録 ふ れ あ い さ ん 数	15人 (15)	

(イ) 派遣理由

内 容	病気	退院直後	ケガ	介護者不在	産前産後	その他
件 数	418件	7件	7件	0件	36件	0件
前年度	263件	11件	14件	0件	28件	1件

(ウ) サービス内容

内 容	買物・調理	洗濯	掃除	世話	外出	見守り	薬取り	沐浴	その他
件 数	487 件	457 件	292 件	177 件	343 件	87 件	44 件	154 件	61 件
前年度	397 件	379 件	330 件	229 件	279 件	67 件	21 件	112 件	92 件

(エ) 他制度へ移行した人数 14 人

- ・派遣内容等について継続して検討した。
- ・事業案内のチラシや電子看板（デジタルサイネージ）放映等を活用して事業の PR に努めた。

(4) 安心探知機補助事業 ※（ ）内は前年度実績

- ・認知症等により徘徊に不安を抱える世帯に対し、安心探知機設置の補助を行った。

補助額 1セット 11,772 円

補 助 件 数	1 件 (2)	補 助 額 合 計	11,772 円 (23,544)
---------	---------	-----------	-------------------

- ・認知症等徘徊者の検索システムの調査研究  
認知症等徘徊者の新たな検索システムの情報収集を行った。
- ・各携帯電話会社を取り扱う位置情報を確認できる各種装置・サービスの情報提供を行った。

### 3 ボランティア活動の育成と支援

(1) ボランティア活動への支援 ※（ ）内は前年度実績

- ・秋田市ボランティア基金の運用益をボランティア団体の行う事業等に対し助成金を交付した。

(ア) 基金の状況 平成 30 年 3 月末現在

基 金	123,679,000 円
-----	---------------

(イ) 運用益の配分

活 動 振 興 事 業	0 件 (1)	0 円 (24,300)
研 修 事 業	3 件 (1)	166,000 円 (72,000)
機 器 整 備 事 業	3 件 (6)	261,400 円 (1,060,000)
基 盤 づ くり 及 び 啓 発 事 業	0 件 (0)	0 円 (0)
市社協・ボランティアセンター事業	1 件 (0)	421,200 円 (0)
活動振興事業（ボランティア保険）	1 件 (1)	471,275 円 (300,000)
合 計	8 件 (9)	1,319,875 円 (1,456,300)

- ・ボランティア団体への器具・機材の貸出 ※3 ページ「地域支え合い体制づくり支援車両等貸出事業 および 4 ページ「ふれあいレクリエーション事業」参照

・ボランティア活動保険への加入状況

区 分		団体数および人数		備 考	
ボランティア		3,556人 (2,575)			
内訳	団 体	189団体 (142)	3,485人 (2,521)	秋田市負担分	454,125円
	個 人	71人 (54)			
地区社協・地域福祉関係者		3,113人 (3,012)		秋田市負担分	431,550円
				ボランティア基金	431,550円
				社協会費充当	226,450円
災 害		44人 (39)		秋田市負担分	10,750円
H29大雨災害		331人 (—)		秋田市負担分	65,725円
				ボランティア基金	39,725円
除 雪		411人 (376)			
内訳	団 体	10団体 (9)	379人 (333)	秋田市負担分	137,900円
	個 人	15人 (9)			
	町内会	4町内 (5)	17人 (36)		
合 計		7,455人 (6,002)		秋田市負担分	1,100,050円
				ボランティア基金	471,275円
				社協会費充当	232,400円

(2) ボランティアセンター事業 ※ ( ) 内は前年度実績

・ボランティア広報誌の発行

「ぼらんていあ情報」を6回(隔月)発行。

・ボランティアニーズの把握を行い、個人ボランティア、団体ボランティアの募集と登録および活動の紹介を行った。

① ボランティア登録数

個 人	1,221人 (1,200)
男	300人 (293)
女	921人 (907)
団 体 数	253団体 (241)
団 体 人 数	5,220人 (4,590)
男	1,376人 (1,057)
女	3,844人 (3,533)
登録者合計	6,441人 (5,790)
男合計	1,676人 (1,350)
女合計	4,765人 (4,440)

② ボランティア活動紹介件数

施 設	98件 (69)
団 体	20件 (69)
在 宅	29件 (58)
自 宅	0件 (10)
そ の 他	2件 (0)
合 計	149件 (206)

・「チビッコボランティア」、「ジュニアボランティア」の開催

小中学校の児童生徒を対象に福祉施設等で体験ボランティアを開催した。

事 業 名	開催回数	参加人数
チビッコボランティア	7回 (7)	105人 (101)
ジュニアボランティア	7回 (6)	56人 (52)

・福祉施設、関係機関との連携

介護支援ボランティア制度と連動し、福祉施設との連携を図った。また、高齢者疑似体験等の貸出や講師派遣を行い関係機関との連携を深めた。

(3) 介護支援ボランティア制度の運営 ※ ( ) 内は前年度実績

(ア) 制度の広報、啓発

- ・秋田駅東西連絡自由通路（ぼぼろード）へポスターを掲示し市民への啓発を行った。
- ・登録講習会の開催を周知するため、リーフレットを作成し関係機関等へ配布した。

(イ) 登録講習会 10回開催 (10) 参加者 144人 (149) 男 37人 (33) 女 107人 (116)  
出張登録講習会 1回開催 参加者 6人 男 0人 女 6人

(ウ) 登録状況

	男	女	計
前年度までの登録者数	114人 (97)	363人 (277)	477人 (374)
新規登録者数	28人 (28)	81人 (128)	109人 (156)
登録抹消者数	16人 (11)	57人 (42)	73人 (53)
計	126人 (114)	387人 (363)	513人 (477)

(エ) 実活動者数

292人 (267) 男 69人 (64) 女 223人 (203) ※平成30年3月の実活動者数

(オ) 延べ活動時間 21,334時間 (19,868)

(カ) 指定受入機関数

介護保険施設等	115施設 (104)
放課後児童クラブ	15施設 (14)
秋田市立図書館	5施設 (5)
計	135施設 (123)

(キ) ポイント活用申請の状況

ポイント申請者数	347人 (298)	
申請ポイント数	13,610P (11,720)	
換金ポイント数	13,300P (11,400)	※1P=100円
寄付ポイント数	310P (320)	※市社協への寄付 10人 (10)

(ク) 介護支援ボランティア登録者を対象として研修会を開催した。

開催日 平成29年11月22日(水) 秋田市文化会館 5階 大会議室 参加者 120人

内容 講演 アンガーマネジメント講座

「怒りをコントロール～イライラしないためのヒント～」

講師：きこえのさぼーとあきた 佐藤 絵里 氏

講演 笑いヨガ講座

「笑って心も体も元気に！」

講師：笑いヨガ認定ティーチャー 伊藤 晴美 氏

情報交換と交流（介護支援ボランティアの愛称をほっこりさんに決定）

(4) 除雪支援の実施 ※ ( ) 内は前年度実績

・除雪ボランティアとの連携による除雪活動

除雪支援相談件数 27件 (35)

活動件数 18件 (24) ①ボランティア対応 15件 (18) ②その他の対応 3件 (6)

除雪ボランティア登録状況

	団体数	登録人数	前年度	
			団体数	人数
団体	15 団体	522 人	9 団体	348 人
個人	—	18 人	—	8 人
計	15 団体	540 人	9 団体	356 人

・除雪機器等の貸出

貸出品目	貸出回数	貸出日数
小型除雪機	0 回	0 日

※ 軽トラック等の貸出実績については4ページ「地域支え合い体制づくり支援車両等貸出事業」参照

・除雪ボランティア等へのボランティア保険料の補助

除雪ボランティア登録者への補助 ※8ページ「ボランティア活動への支援」参照

町内会への補助 ※8ページ「ボランティア活動への支援」参照

(5) 平成 29 年秋田県大雨災害への対応

- ・平成 29 年 7 月、8 月の大雨により、秋田市内でも大住・河辺・雄和地区を中心に床上、床下浸水あわせて 500 棟以上の被害が発生し、秋田市ボランティアセンターでは、被害状況の把握とニーズ調査を行い、ボランティアの受け入れを行った。

実施期間 平成 29 年 7 月 26 日～10 月 19 日

ボランティア受付 秋田市老人福祉センター（本部）

雄和ふれあいプラザ（現地センター）※7 月 29 日～30 日のみ

ボランティア活動件数 72 件

主な活動内容 畳・家具の運び出し、泥・土砂上げ、室内の整理、小屋・物置の整理、床板はがし、泥出し、消毒（家具・床板・床下）、掃除、写真・書籍の乾燥・整理、草刈り、ニーズ調査等

ボランティア活動者（延） 334 人（16 団体 188 名、個人 130 名、社協関係者 16 名）

※参加団体

真如苑 SeRv、秋田市役所野球部、国際教養大学、あおぞらこども園、パドラーズ、日赤看護大学、秋田市役所フェンシング部、秋田ノーザンブレッツ、北都銀行、秋田県曹洞宗青年会、建設業協会、中央地区老人福祉総合エリア、秋田青年会議所、石油資源開発、国際石油開発帝石、雄和福祉会

- ・各地区社協、各地区民児協に地区内の見守り活動の強化およびニーズ把握について協力を依頼した。
- ・ボランティアの協力を得て被災世帯へ粗品（洗剤、ティッシュ、軍手、ゴミ袋など）を持参し戸別訪問（ニーズ調査）を実施した。（約 500 世帯）

【寄付物品】

品名	数量	提供者
タオル他	—	個人
洗濯機・布団他	—	個人
布団他	—	個人
タオル・土のう袋	—	岐阜県中津川市（市役所、高校、市民団体）
ゴーグル	—	秋田ノーザンブレッツ
タオル	250 枚	天理教
軍手	200 ダース	ミドリ安全
サプリメント	2 箱	〃
米（つや姫 5kg×20 袋）	100kg	秋田ケーブルテレビ
リポビタミンD	100 本	（株）とみや

【その他】

- 北秋田市社協より作業用資材（スコップ、バケツ、ブルーシート他）の提供
- 県共同募金会より「活動拠点事務所支援資金」として 666,453 円の支援
- 近隣市町村社協および県社協から応援職員の派遣（7月29日～7月30日）  
由利本荘市（2名）、五城目町（2名）、八郎潟町（2名）、潟上市（2名）、県社協（4名）計 12 名
- 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）の支援 5 名
- 防災科学技術研究所（つくば市）から浸水マップおよびニーズ管理ソフトの提供
- コープフードバンクおよびフードバンクあきたから飲料水提供の情報
- 静岡大学から携帯電話の無償提供の情報

4 生活福祉支援関連事業

(1) 生活福祉資金等貸付事業 ※（ ）内は前年度実績

・相談受付状況

資金の種類	件数	
総合支援資金	196 件	(253)
福祉資金	1,374 件	(1,208)
教育支援資金	454 件	(467)
不動産担保型生活資金	59 件	(39)
計	2,083 件	(1,967)

・生活福祉資金の貸付状況

資金の種類		件数		金額	
総合支援資金	生活支援費	3 件	(7)	555,000 円	(2,163,000)
	住宅入居費	1 件	(2)	167,890 円	(263,160)
	一時生活再建費	0 件	(4)	0 円	(478,827)
福祉資金	福祉費	3 件	(10)	1,850,000 円	(4,591,801)
	緊急小口資金	19 件	(19)	1,846,000 円	(1,719,748)
教育支援資金	教育支援費	11 件	(20)	17,478,000 円	(22,640,300)
	就学支度費	13 件	(23)	3,554,000 円	(6,636,500)
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	0 件	(0)	0 円	(0)
	要保護世帯向不動産担保型生活資金	0 件	(1)	0 円	(3,948,000)
計		50 件	(86)	25,450,890 円	(42,441,336)

・臨時特例つなぎ資金の貸付状況 ※（ ）内は前年度実績

資金の種類	件数	金額
臨時特例つなぎ資金	1件 (2)	100,000円 (200,000)

・事務局審査の開催 35回（資金の借入れ、償還猶予、償還免除の各種申込みに伴う審査）

・生活困窮者自立支援事業との連携

市福祉事務所が開催する支援調整会議への参加 5回

・生活福祉資金研修会の開催

開催日 平成29年8月24日（木）

会場 秋田市老人福祉センター

参加者 生活福祉資金担当民生委員等 34地区 50人

内容 研修「生活福祉資金貸付制度について」

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生活相談支援担当 鎌田 いづみ 氏

・自立支援活動および償還指導の実施

6月 89件、9月 131件、12月 136件、1月 110件、2月 60件 計 526件（計 454件）

(2) 市民小口資金の貸付および償還指導の実施 ※（ ）内は前年度実績

・市から400万円の原資を借入れ、一時的に生活に困っている方に対して限度額6万円まで貸付した。  
（貸付期間12カ月以内・無利子）

・市民小口資金の新規貸付状況

区分	件数(件)	金額(円)
一般（社協受付）	71 (85)	3,880,000 (4,365,000)
被保護者等	226 (246)	4,069,920 (3,947,800)
保護課経由	205 (232)	3,454,920 (3,504,800)
自立支援経由	21 (14)	615,000 (443,000)
合計	297 (331)	7,949,920 (8,312,800)

・市民小口資金の償還状況

区分	現年度		過年度		計	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
一般(社協)	45 (57)	1,363,000 (1,464,900)	107 (79)	2,332,746 (1,532,850)	152 (136)	3,695,746 (2,997,750)
被保護者等	158 (191)	2,121,920 (2,630,800)	64 (46)	933,200 (563,275)	222 (237)	3,055,120 (3,194,075)
保護	152 (185)	2,036,920 (2,508,800)	58 (44)	831,000 (513,275)	210 (229)	2,867,920 (3,022,075)
自立	6 (6)	85,000 (122,000)	6 (2)	102,200 (50,000)	12 (8)	187,200 (172,000)
計	203 (248)	3,484,920 (4,095,700)	171 (125)	3,265,946 (2,096,125)	374 (373)	6,750,866 (6,191,825)

・市民小口資金の完済、未完済の状況

区分	現年度		過年度		計	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
完済	146 (198)	2,449,920 (3,284,800)	113 (84)	2,632,870 (2,583,500)	259 (282)	5,082,790 (5,868,300)
未完済	151 (133)	4,465,000 (4,217,100)	414 (419)	9,714,564 (9,316,544)	565 (552)	14,179,564 (13,533,644)

・償還遅延者に対し督促状を送付した。(7月、2月)計 862件

・市から補助を受け、過年度分(平成18年度分25件)の不能欠損処理を行った。

### (3) 見舞金の支給

・罹災世帯に対して見舞金を支給した。

罹災区分	罹災世帯数	見舞金額
全焼件数	8件	160,000円
半焼件数	3件	30,000円
床上浸水件数	160件	1,600,000円
計	171件	1,790,000円
前年度	7件	120,000円

### (4) 秋田市地域自殺対策強化事業 ※ ( ) 内は前年度実績

#### (ア) 地域サロン強化事業

地域サロン活動のさらなる充実や拡大を図ることにより社会的孤立を予防し、自殺予防対策の一助とした。

助成金交付 31地区 (31地区) 1,395,000円 (1,395,000円)

サロン貸出用品購入

#### (イ) 緊急食支援事業

市民小口資金等へ該当しなかった方や制度申請中の方で、その日の食事のままならない方々に対して食料品の支給と思い立った時に相談できるよう専門相談機関の一覧を配布した。

支援対象数 90件107名 (144件175名)

### (5) フードバンクへの協力

#### (ア) フードバンクあきたへの協力

家庭で余剰な食べ物を秋田市老人福祉センター内の食品回収箱に持ち寄ってもらい、それらをフードバンクあきたへ受け渡しした。

受け渡し状況 米、乾麺、飲料、缶詰、お菓子など 計1,581点(678点)

#### (イ) コープフードバンク事業への協力

生活困窮などにより食品等を必要としている世帯を把握したときに、コープフードバンク(コープ東北サンネット事業連合)から必要なものを無償提供してもらう事業に協力した。

困窮世帯への支援 18件 (5件)

### (6) 日用品・介護用品の再利用

・介護用品が不要となった人の情報をリサイクル情報としてホームページへ掲載し、必要な人への再利用につながった。

介護用電動ベッド 1件

## 5 福祉啓発活動

### (1) 福祉施設との連携

・秋田市内社会福祉事業従事者スポーツ大会と合同交流会を開催し、福祉意識の高揚と連携を図った。

(平成29年10月5日(木)、平成29年10月17日(火)開催 参加者延べ人数 805人)

・スポーツ大会ふれあいニュースを発行(平成30年3月500部)し、市内福祉施設へ配布した。

・平成29年6月16日、平成29年11月24日に秋田市内社会福祉事業従事者スポーツ大会実行委員会を開催した。

(2) 社会福祉大会の開催

開催日 平成 29 年 10 月 13 日 (金)  
 会 場 秋田市文化会館 大ホール  
 参加者 地区社協関係者、民生委員・児童委員、町内会長、福祉協力員、婦人会会員、福祉  
 団体関係者、秋田市民 約 800 名  
 テーマ 「広げよう 命を守る 地域の絆」  
 行 事 式典、福祉功労者の表彰  
 デモンストラーション

「もしもの時の救世主! 「安心キット」」

秋田市消防本部職員

講演

「救急医療、在宅医療から見た地域包括システム」

ほぼ在宅、ときどき入院、を目指して

—みんなが主役、地域包括システム—

医療法人社団 親樹会

恵泉クリニック 顧問 太田祥一 氏

(3) 広報活動 ※ ( ) 内は前年度実績

・「社協だより」を発行し、全戸へ配布した。

発行回数	1回 (1)	発行部数	115,000部 (115,000)
------	--------	------	--------------------

・ミニ情報誌を発行し、地区社協、地区民児協、各部市民センター、地域センター、各コミセンへ配布した。

発行回数	1回 (1)	発行部数	1,740部 (1,300)
------	--------	------	----------------

・秋田市社協のホームページの更新頻度を上げ、内容の充実を図るとともに事業等の「見える化」に努めた。

アクセス件数 103,988 件 (90,120) (ホームページアドレス <http://www.akita-city-shakyo.jp/>)

(4) 福祉教育の推進 ※ ( ) 内は前年度実績

・疑似体験および講師派遣

派遣先 土崎病院 受講者 50 名

・職場体験学習の受入れ 中学校 4 校 (2) 25 名 (10)

・バリアフリー教室への協力 小学校 9 校 (8) 547 名 (407)

・機材の貸出状況

	学校数	延べ数
車 い す	9 校 (9)	38 台 (37)
高齢者疑似体験セット	0 校 (1)	0 台 (7)
視覚障がい者体験グラス	9 校 (9)	48 台 (54)
ア イ マ ス ク	9 校 (9)	188 枚 (230)

## (5) その他

### ・社会福祉法人ネットワーク協議会支援事業

秋田市からの補助を受け、秋田市内の社会福祉法人における福祉人材の確保・育成、経営の強化に関する協議・検討等を行い社会福祉法人のネットワーク化を図ることを目的に研修等を実施した。

#### ①秋田市社会福祉法人役員研修会

開催日 平成 29 年 12 月 6 日 (水)

会 場 秋田ビューホテル

内 容 社会福祉法人における経営の現状と課題、改正社会福祉法への対応、  
地域の公益的な取組

参加者 理事長、役員、施設長 合計 34 名

#### ②秋田市社会福祉法人幹部職員研修会

開催日 平成 30 年 1 月 30 日 (火)

会 場 秋田ビューホテル

内 容 人材の確保と育成およびキャリアパス、内部管理体制、地域の公益的な取組

参加者 役員、施設長、事務局長、中間管理職、中核職員 合計 40 名

#### ③先進事例視察調査

月日・視察先 平成 30 年 2 月 8 日 京都府 社会福祉法人 きたおうじ

内 容 法人連携および効果について、地域における公益的な取組 (背景、経緯、ニーズキャ  
ッチ、効果) について

月日・視察先 平成 30 年 2 月 9 日 社会福祉法人大阪府社会福祉協議会

内 容 「大阪しあわせネットワークについて」

～オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業～

#### ④秋田市社会福祉法人役職員研修会

開催日 平成 30 年 2 月 27 日 (水)

会 場 秋田ビューホテル

内 容 社会福祉法人の調査視察等について、岩手県社会福祉法人経営者協議会協働による  
地域公益活動、社会福祉法人の地域における公益的な取組について、秋田市での地域  
の公益的な取組の方向性について

参加者 理事長、役員、施設長、事務局長、中間管理職 合計 33 名

## 6 組織運営と財政基盤の強化

### (1) 理事会、評議員会等の開催 ※ ( ) 内は前年度実績

理 事 会	3 回	(5)
評 議 員 会	2 回	(4)
監 事 会	1 回	(2)
正 副 会 長 会	4 回	(8)

### (2) 委員会等の開催

・「ボランティア基金管理運営委員会」の開催 (平成 29 年 7 月 24 日)

・「表彰者審査委員会」の開催 (平成 29 年 8 月 22 日)

・「救急医療情報キット (安心キット) 事業合同推進委員会」の開催 (平成 30 年 2 月 6 日)

(3) 組織運営体制の整備

- ・諸規程の改正を行い、運営体制の整備を図った。

(4) 一般会員・特別会員の拡大

ア 一般会員の状況 (H30.3.31 現在) 38 地区 88,872 世帯 × 360 円 = 31,993,920 円  
 (※前年度実績 38 地区 88,450 世帯 × 360 円 = 31,842,000 円)

イ 特別会員の状況 (H30.3.31 現在)

区 分	会員数	口数	会 費	前 年 度			
				会員数	口数	会 費	
個人	地区社協役員	298 名	298 口	298,000	293 名	293 口	293,000
	民生委員・児童委員	714 名	714 口	714,000	714 名	714 口	714,000
	福祉施設職員	35 名	43 口	43,000	37 名	45 口	45,000
	一般市民	64 名	90 口	90,000	49 名	77 口	77,000
	市・社協職員	276 名	278 口	278,000	301 名	303 口	303,000
小 計	1,387 名	1,423 口	1,423,000	1,394 名	1,432 口	1,432,000	
団体	地区社協	38 団体	39 口	195,000	37 団体	37 口	185,000
	社会福祉事業施設	51 団体	68 口	136,000	52 団体	69 口	138,000
	社会福祉団体	27 団体	33 口	66,000	26 団体	32 口	64,000
	企業・法人	31 団体	34 口	340,000	32 団体	35 口	350,000
小 計	147 団体	174 口	737,000	147 団体	173 口	737,000	
合 計	1,534	1,597 口	2,160,000	1,541	1,605 口	2,169,000	

7 善意銀行（寄付金）等の状況

(1) 善意銀行の運営 ※（ ）内は前年度実績

- ・市民の善意で預託された一般寄付金や指定寄付金等は、地域貸出用車いすの購入や在宅福祉事業に充てるとともに一部を福祉事業基金の原資として積み立てをした。

一般寄付金	篤志寄付	47 件 (38)	1,511,118 円 (1,065,094)	
	香典返し	6 件 (4)	340,000 円 (150,000)	
	計	53 件 (42)	1,851,118 円 (1,215,094)	
指定寄付金	一円玉寄付金	1 件 (1)	56,000 円 (37,500)	交通災害遺児激励金に充当
	その他指定寄付金	6 件 (3)	5,324,000 円 (397,000)	
	計	7 件 (4)	5,380,000 円 (434,500)	
合 計	60 件 (46)	7,231,118 円 (1,649,594)		

(2) 基金の運営

- ・九州北部大雨災害義援金として、福祉事業基金から 100,000 円を支出した。
- ・台風第 18 号災害義援金として、福祉事業基金から 50,000 円を支出した。
- ・台風第 21 号災害義援金として、福祉事業基金から 50,000 円を支出した。

### (3) その他（寄付物品等）

- ・白杖 95本（ソニー生命保険(株)）
- ・手作りお手玉 330個（秋田市母子寡婦福祉連合会 夢クラブ）
- ・タオル 55枚（柳町町内会女性部）
- ・フェイスタオル 36枚（河辺地区民生児童委員協議会）
- ・カレンダー 約3,000点（榊くまがい印刷）
- ・タオル 150枚（寺内小学区社会福祉協議会）
- ・車イス 2台（秋田市総合振興公社）
- ・ニンジン 2t（由利本荘市西目町 農家の方）

## 8 役職員の資質の向上と派遣

### (1) 職員研修

- ・新任職員研修を実施した。

### (2) 研修会への参加

- ・各種研修会へ参加し研修した。
- ・役職員が秋田県社会福祉大会の講演会（横手市）へ参加し、研修した。

### (3) 役職員派遣

- ・地区、団体等の要望により役職員を講師派遣および行事へ派遣した。

## 9 受託事業

(1) 秋田市高齢者生活管理指導員派遣事業 ※22 ページ「ホームヘルパー事業」参照

(2) 秋田市手話通訳者設置事業 ※（ ）内は前年度実績

手話通訳者	1人	(1人)
通訳件数	658件	(632件)

(3) 秋田市ボランティアセンター事業 ※8 ページ「ボランティアセンター事業」参照

(4) 介護支援ボランティア制度運営事業 ※9 ページ「介護支援ボランティア制度の運営」参照

(5) 秋田市老人福祉センター管理運営事業  
ア 利用件数

個人利用者	24,046人	男 11,929人 女 12,117人
団体利用者	15,215人	1,146団体
合計	39,869人	※前年度 42,591人
開館日数	294日	
1日平均利用者	136人	※前年度 145人

・部屋別個人利用件数（延べ人数）

	図書コーナー	ヘルストロン	娯楽室	浴室	録音室	付設作業所
当年度	1,267	13,256	866	19,984	84	608
前年度	1,150	15,326	864	21,619	24	905

イ 高齢者生きがい事業

・高齢者の生きがいと健康づくりのため「けやき大学」を開催した。

講座名	科目	回数	参加者延べ人数
趣味・教養	楽しい七宝焼き教室	4	90人
	筆ペン・ペン習字教室	5	156人
	スマートフォン教室	4	72人
	水彩画教室	8	194人
健康づくり	太極拳教室	8	182人
合計		29	694人
前年度		29	655人

(6) 秋田市老人いこいの家管理運営事業

ア 利用件数

施設名	八橋	飯島	大森山
利用人数 男	3,773人	11,438人	9,886人
〃 女	1,979人	4,539人	8,459人
〃 子供	—	—	1,267人
計	5,752人	15,977人	19,612人
前年度	6,984人	14,967人	20,824人
開所日数	296日	296日	296日
一日平均	19.4人	54.0人	66.3人
前年度一日平均	23.6人	50.6人	70.4人

イ 利用内容

区分（単位:人）		八橋		飯島		大森山	
		当年度	前年度	当年度	前年度	当年度	前年度
老人	各種会議等	373	510	0	0	10	86
	各種講習会等	831	1,596	0	0	0	0
	レクリエーション	519	534	0	0	30	1,523
	交流会等	37	0	0	0	968	836
	同好会等	3,104	3,513	2,180	2,171	3,173	1,493
	入浴	—	—	11,925	11,116	8,718	9,751
	ヘルストロン	—	—	—	—	1,859	2,399
	体育館	—	—	—	—	4,338	3,688
	いきいきサロン	576	616	241	205	261	265
	その他	312	215	1,631	1,475	255	771
子供	各種会議等					0	0
	レクリエーション					0	901

	交 流 会 等					0	0
	入 浴					3	12
	体 育 館					497	255
	そ の 他					2	140
計		5,752	6,984	15,977	14,967	19,612	20,824
区 分 (単位:人)		八 橋		飯 島		大森山	
		当年度	前年度	当年度	前年度	当年度	前年度
健康相談		41	29	3,126	3,092	2,615	2,372
血圧測定		805	656	3,231	2,246	2,850	2,567
処 置		0	0	6	3	4	5

※ 八橋老人いきいきの家ボイラー故障のため平成23年6月23日から浴室の利用を休止。

※ 浴室利用については火曜、木曜、土曜の週3日のみ

ウ いきいきサロン

	八 橋		飯 島		大森山		雄和ふれあいプラザ	
	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数
体を動かそうADL体操	9	430	3	33	3	50	5	68
秋田民謡手踊り教室			3	56				
からだイキイキ3B体操					3	53		
山の幸染め教室							1	14
演歌・歌謡教室			4	131	3	109		
ラフターヨガ	3	146	2	21	3	49		
プリザーブドフラワー							1	13
クラフトテープ～ミニバケット～							3	66
ポーセラーツ教室							2	18
合 計	12	576	12	241	12	261	12	179
前 年 度	12	616	12	205	12	265	12	95

(7) 秋田市雄和ふれあいプラザ管理運営事業 ※ ( ) 内は前年度実績

ア 利用状況

男	540人 (487)
女	1,729人 (1,567)
計	2,269人 (2,054)
一日平均利用者数	9.3人 (8.5)
開所日数	244日 (243)

イ 利用内訳

各 種 会 議	230人 (176)
交 流 会 等	202人 (334)
同 好 会 等	698人 (592)
いきいきサロン	179人 (95)
ゆうゆうくらぶ	183人 (135)
ヘルスロトン	428人 (389)
そ の 他	339人 (333)

(8) 秋田市河辺総合福祉交流センター管理事業 ※ ( ) 内は前年度実績

・利用状況

内容	会議室等					屋外
	福祉関係	保健関係	社会・教育	その他 (行政含む)	合計	グラウンド ゴルフ
件数	168 (157)	18 (18)	59 (56)	31 (30)	276 (261)	109 (90)
人数	3,186 (2,931)	965 (1,060)	2,868 (2,602)	6,078 (3,979)	13,097 (10,572)	1,137 (1,059)

(9) 秋田市地域包括支援センター運営事業

八橋・河辺・川元地域包括支援センター (地域型)

単位：件

	総合 相談	権利 擁護	ケア 会議	申請 代行	地域 連携等	予防 プラン	内プラン の委託
八橋地域包括支援センター社協	1,470	80	5	318	27	3,181	1,830
河辺地域包括支援センター社協	620	50	3	156	49	1,042	238
川元地域包括支援センター社協	1,276	253	4	272	57	2,443	1,448

※実習生等受入状況

- ・八橋地域包括支援センター社協：延べ9人  
(秋田大学医学部保健学科、秋田市医師会看護学校、日本赤十字秋田看護大学)
- ・河辺地域包括支援センター社協：延べ8人  
(秋田大学医学部保健学科、日本赤十字秋田看護大学)
- ・川元地域包括支援センター社協：延べ10人  
(秋田大学医学部保健学科、秋田市医師会看護学校、日本赤十字秋田看護大学)

※認知症サポーター養成講座への講師派遣

- ・八橋地域包括支援センター社協：8事業所 223人参加
- ・河辺地域包括支援センター社協：2事業所 34人参加
- ・川元地域包括支援センター社協：5事業所 87人参加

(10) 地域型はつらつくらぶ事業 ※ ( ) 内は前年度実績

・高齢者の運動器の機能向上、閉じこもりの防止、介護予防一般に関する知識の普及啓発を図り、要介護状態になることの予防と生き生きとした生活を支援した。

	八橋包括	川元包括	河辺包括	計
実施回数 (回)	7 (7)	8 (10)	10 (10)	25 (27)
利用者実人数 (人)	24 (19)	19 (25)	30 (30)	73 (74)
利用者延人数 (人)	135 (125)	89 (149)	187 (206)	411 (468)

【実施内容】

八橋	ストレッチ、ステップ体操、体力測定、講話 (筋肉と脂肪燃焼の関係性など)
川元	体力測定、健康体操、講話 (食事、低栄養、水分補給、ロコモティブシンドロームなど)
河辺	体力測定、健康体操、介護予防、認知症予防、レクリエーション

## (11) 秋田市高齢者生活支援体制整備事業

### 〔八橋・川元〕

- ・八橋地域包括支援センター圏域、川元地域包括支援センター圏域にそれぞれ生活支援コーディネーター1名を配置し、町内会や老人クラブなど地域の各種団体に出向き、聞き取りやアンケート調査などにより地域課題の把握および地域資源の把握を行った。
- ・両圏域にそれぞれ協議体（八橋圏域：八橋旭北高齢者ささえ愛協議会、川元圏域：川元包括きづな会）を設置し、ワークショップ等で地域課題および地域資源の情報共有と協議体委員間のネットワーク強化を図った。

協議体開催 3回（11月29日、12月13日、2月14日 いずれも両圏域合同開催）

- ・圏域内の地区社協に協力員（各地区1名程度）を配置し、地域課題や地域資源の情報収集を行った。
- ・圏域内の住民と関係機関向けに広報紙を発行（年1回）し、目指す地域像の共通理解を図った。

### 〔河辺〕

- ・河辺地域包括支援センター圏域に生活支援コーディネーター1名配置して、生活支援サービスの担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やネットワーク化を行った。
- ・ささえ愛せせらぎ協議会（協議体）の開催  
生活支援・介護予防の提供主体等が参画し、情報共有及び連携強化の場として協議体を開催した。

開催回数	4回
延べ参加人数	35人

- ・居場所づくりのためのきっかけづくり教室等の開催 ※（）内は前年度実績

教室等名称	開催回数	参加延べ人数
ウォーキング教室	5回	20人（60人）
ダンディ・クッキング	5回	7人（25人）
スロージョギング教室	3回	24人（51人）

- ・地域の特性を知るため「地域での暮らしと支え合いに関する調査」を実施。
- ・3町内サロンで地域支えあいマップを作成し、各町内の状況を確認した。
- ・広報活動  
生活支援コーディネーター通信を3回作成し、河辺圏域に配布。（1回2,700部）

## (12) 通所型介護予防フォローアップ事業

- ・二次予防事業の参加者が、事業終了後も主体的かつ継続的に介護予防に取り組むことにより、居宅において自立した活動的で生きがいのある日常生活を営むことができるように支援した。

（河辺地域包括支援センター社協）

実施内容 運動機能向上（簡易器具を使用したトレーニング・ストレッチ）

支援回数 24回、延べ参加者数 153人

（川元地域包括支援センター社協）

実施内容 運動機能向上（簡易器具を使用したトレーニング）

支援回数 24回、延べ参加者数 47人

(13) 認知症予防事業「脳の健康教室」 ※（ ）内は前年度実績

・認知症予防のための学習を通じて要介護状態になることを予防するとともに、地域住民との交流等を通して、認知症予防に自ら取り組む地域づくりを支援した。

	八橋教室(火)	西部教室(水)	東部教室(木)	八橋教室(金)	計
実施回数(回)	24	24	24	24	96 (96)
利用実人数(人)	11(22)	24(28)	12(14)	23(27)	70 (91)
利用延人数(人)	234(479)	494(596)	246(261)	496(542)	1,470 (1,878)
サポーター実人数(人)	5(6)	7(8)	6(4)	8(7)	26 (25)
サポーター延人数(人)	112(144)	155(181)	133(93)	159(158)	559 (576)

(14) 福祉サービス利用援助事業 ※（ ）内は前年度実績

・全市町村実施方式に伴い、対応エリアが中央地区から秋田市のみとなった。  
・相談援助・契約件数

	相談援助件数	契約件数	新規契約件数	解約件数
認知症高齢者等	384 (612)	24 (44)	8 (4)	28 (12)
知的障がい者	130 (86)	4 (8)	0 (1)	4 (2)
精神障がい者	1,820 (836)	12 (13)	3 (3)	4 (3)
その他	10 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	2,344 (1,541)	40 (65)	11 (8)	36 (17)

・その他

契約締結審査会	12 (12)
生活支援員研修	1 (1)
周知活動	1 (9)
生活支援員活動延べ回数	558 (996)

(15) 秋田市障害児者日中一時支援事業 ※（ ）内は前年度実績

会場 きらり支援学校

3月末利用者数	延べ利用者数	月平均	延べ利用回数	月平均	従事者数
3人(5)	44人(59)	3.7人(4.9)	476回(701)	39.7回(58.4)	常勤1人、登録7名

## 10 福祉団体等への助成

・福祉団体の育成及び各種福祉団体の行事等を支援するため、次の大会に助成した。  
第48回東北ろうあ者体育大会

## 11 介護保険事業

### (1) 訪問介護（ホームヘルパー）派遣事業

ア 利用者状況

	総合事業対象者	介護保険							計	前年度
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
延べ人数	1	660	578	819	464	145	57	63	2,787	3,110
延べ利用回数	17	3,653	4,399	9,756	5,555	2,614	1,932	2,240	30,149	29,648

	自立	障害者 自立支援	日中一時 支 援	計	前年度
延べ人数	121	657	44	822	978
延べ利用回数	629	10,763	416	11,808	10,388

イ 人員体制 (3月末現在)

常 勤	契 約	非常勤	登 録	計	前年度
9	15	4	43	71	72

ウ ガイドヘルパー数

登録数
3

(2) 居宅介護支援事業

・人員体制 (3月末現在) ケアマネジャー数 秋田10人、河辺4人、せせらぎ3人

		総合 事業	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	前年度
秋 田	延べ人数	237	442	481	1,120	777	555	358	188	3,921	4,039
	月平均	19.8	36.8	40.1	93.3	64.8	46.3	29.8	15.7	326.8	336.6
河 辺	延べ人数	0	0	0	449	328	306	132	106	1,321	2,154
	月平均	0	0	0	37.4	27.3	25.5	11.0	8.8	110.0	179.5
せ せ ら ぎ	延べ人数	0	0	0	485	209	114	123	101	1032	257
	月平均	0	0	0	40.4	17.4	9.5	10.3	8.4	87.7	85.7

※実習生受入状況

居宅介護支援秋田事業所：介護支援専門員実務研修2人

居宅介護支援河辺事業所：介護支援専門員実務研修2人

(3) 通所介護事業

		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	通所型 介護予 防	計	前年度
河 辺	実 人 員	19	44	275	111	51	31	12	—	543	523
	延べ利用回数	74	287	2375	1019	357	266	180	—	4553	4,191
八 橋	実 人 員	144	139	271	300	97	40	8	—	999	974
	延べ利用回数	718	898	1,999	2,403	892	191	40	—	7,141	6,781

・人員体制 (3月末現在)

【河辺】管理者1名(介護職員を兼務)、生活相談員4名(常勤専従1、常勤兼務3)、看護職員2名(常勤兼務1、非常勤兼務1)、介護職員8名(常勤専従1、常勤兼務5、非常勤専従2)

【八橋】管理者1名、生活相談員3名(常勤専従1、常勤兼務2)、看護職員3名(常勤兼務1、非常勤兼務2)、介護職員9名(常勤専従3、常勤兼務3、非常勤専従3)、

※実習生等受入状況

・秋田市八橋老人デイサービスセンター：延べ42人(秋田市医師会立看護学校)

## 12 その他

(1) 秋田市共同募金委員会事務局への協力

(2) 秋田市ボランティア連絡協議会事務局への協力

(3) 秋田市老人福祉施設連絡協議会事務局への協力

(4) 秋田市地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会事務局への協力

(5) 秋田県消防設備協会による住宅用火災警報器無料設置事業への協力

市民児協および地域包括支援センターの協力を得て、一人暮らし高齢者世帯・高齢者のみの世帯等で設置を希望する方を取りまとめ、秋田県消防設備協会へ情報提供した。また、担当民生委員の立ち会いにより、30世帯へ秋田県消防設備協会会員が火災警報器を設置した。

## 社 協 活 動 主 要 記 録

平成 年月日	主 要 事 項	開催場所等
29. 4. 3	フードドライブ活動覚書締結式	秋田市老人福祉センター
12	八橋デイサービスセンター特殊浴槽入札	〃
5. 9	正副会長会(平成28年度事業報告および収支決算等)	〃
19	監事会(平成28年度監査)	〃
25	理事会(平成28年度事業報告および決算認定等)	〃
6. 13	評議員会(平成28年度事業報告および決算認定等)	〃
14	理事会(会長の選任等)	〃
29	秋田市地区社会福祉協議会連絡会総会および研修会(～6/30)	〃・山形県天童市
7. 7	地域福祉活動合同研修会	秋田市文化会館
11	第1回秋田市社会福祉大会打合わせ会	秋田市老人福祉センター
24	秋田市ボランティア基金管理運営委員会	〃
26	秋田県大雨災害に伴うボランティア活動開始	〃
8. 1	正副会長会(大雨災害による対応について等)	〃
22	秋田市社会福祉大会表彰審査会	秋田市老人福祉センター
22	市社協・市民児協正副会長懇話会	〃
24	生活福祉資金民生委員研修会	〃
10. 5	秋田市内社会福祉従事者スポーツ大会(ソフトボール)	向浜四面球場
13	秋田市社会福祉大会	秋田市文化会館
15	あずさ愛福祉歌謡祭贈呈式(寄附金)	〃
17	秋田市内社会福祉従事者スポーツ大会(バレーボール)	CNAアリーナ★あきた
17	秋田市内社会福祉従事者合同交流会	ビューホテル
19	秋田県大雨災害に伴うボランティア活動終了	秋田市老人福祉センター
28	桜雅会歌と踊りのフェスティバル(寄附金)	秋田テルサ
12. 5	真如苑寄附贈呈式(寄附金)	秋田市老人福祉センター
14	東部ガス寄附贈呈式(寄附金)	秋田県社会福祉会館
16	秋田市PTA連合会「一円玉福祉募金」贈呈式	秋田市老人福祉センター
20	くまがい印刷贈呈式(カレンダー)	〃
30. 1. 4	正副会長会議(懸案事項)	〃
16	秋田市地区社協連絡会第2回研修会	協働大町ビル
22	秋田北ロータリークラブ贈呈式(寄附金)	秋田市老人福祉センター
2. 6	救急医療情報キット(安心キット)事業合同推進委員会	秋田市老人福祉センター
14	地区社協Aブロック地区研修会	アルバードホテル
16	地区社協Cブロック地区研修会	第一会館
22	地区社協Bブロック地区研修会	イヤタカ
26	地区社協Dブロック地区研修会	アキタパークホテル
3. 7	地区社協事務担当者研修会	秋田市老人福祉センター
12	秋田市総合振興公社贈呈式(車椅子)	〃
15	正副会長会議(補正予算、平成30年度事業計画および予算等)	〃
20	理事会(補正予算、平成30年度事業計画および予算等)	〃
28	評議員会(補正予算、平成30年度事業計画および予算等)	〃